

会員各位

特定非営利活動法人三重県歯科衛生士会
会長 笹間 滋代

令和4年度第4回三重県歯科衛生士会生涯研修会
第1回在宅歯科衛生士養成研修会について（ご案内）

秋冷の候、会員の皆様におかれましてはますますご清祥の事とお喜び申し上げます。

さて、標記研修会を下記のとおり開催いたしますので、ご案内申し上げます。

昨年牧野先生の研修会はZOOMにて『歯科衛生士が臨床で使える嚥下の知識や技術』をご教授いただきました。とても好評でしたので、第2弾を企画し、今年度は、対面で開催することが叶い嬉しく思います。ご多用中とは存じますが、皆様のご参加をお待ちしております。

記

日時 令和4年11月20日（日曜日） 10:00～12:00
会場 アストプラザ 会議室1（津市羽所町700番地 アスト津4階）
講師 愛知学院大学 心身科学部 准教授 牧野 日和 先生
内容 「歯科衛生士が知っとくべき摂食嚥下の知識」
対象 歯科衛生士80名（対面60名、サテライト20名（会議室4））
参加費 無料

申込方法 下記のURLまたはQRコードからお申し込みください。

URL <https://forms.gle/4PbDwBeuPwKF2VeR6>

申込み締め切り 11月6日（日）

※定員になり次第、締め切りとなります。



- 必ず、お申込みいただきご参加ください。
- 会場ではマスク着用をお願いいたします。
- 入室前に手指消毒、検温にご協力をお願いいたします。
- 当日、体調がすぐれない方はご参加をお控えください。
- 状況により、急きょ研修会が開催中止となる場合がありますことをご了承ください。
その場合は、ホームページでお知らせいたします。

お問合せ先 三重県歯科衛生士会事務局
E-mail mie-dh@infoseek.jp

【抄録】

摂食嚥下リハビリテーションは、アメリカで産声をあげ 40 年以上が経過しました。この間、摂食嚥下障害の多くは、脳卒中主体から神経変性疾患や多病、認知症主体へと対象疾患が大きく変化し、同時に摂食嚥下リハビリテーションの考え方や評価・訓練法は移り変わりを見せました。本研修では、日頃現場が求めている知識や技術の解説を軸に、難攻不落とも思われる問題点や解決法に触れ、「明日から使える講演」を目指し製作しました。歯科衛生士がこの分野をぐいぐい牽引できるためのエッセンスをたっぷりちりばめています。みなさまのご参加をお待ちします。

【略歴】 牧野 日和（まきの ひより）先生

- ・准教授・博士（歯学）
- ・言語聴覚士
- ・日本心理学会認定心理士
- ・日本言語聴覚士協会 認定言語聴覚士 摂食嚥下障害領域
- ・日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士

< 学歴 >

- ・福井医療技術専門学校（現．福井医療大学）
- ・愛知学院大学大学院歯学研究科

< 職歴 >

- ・社会福祉法人びわこ学園 第一びわこ学園 言語聴覚士
- ・札幌医療科学専門学校 言語聴覚学科講師
- ・学校法人同志舎 言語聴覚学科長
- ・愛知学院大学 心身科学部 言語聴覚科学コース

< 社会活動（一部） >

- ・日本口腔ケア学会 常務理事
- ・日本言語聴覚士協会 教育部部員

< 執筆（一部） >

- ・構音障害：今日の治療指針．医学書院．2012
- ・構音障害：今日の治療指針．医学書院．2019
- ・口唇口蓋裂 Q & A：医歯薬出版株式会社．2015
- ・口ほどモノを言う?!実務に役立つ口腔知識 口腔の基礎知識口腔内細菌とむし歯：介護支援専門員、10 巻 6 号．メディカルレビュー社．2009
- ・口から食べるを支援する 摂食嚥下の機能を維持するケア：おはよう 21．中央法規出版．2013
- ・「口から食べる」を支えるケア（全 12 巻）：おはよう 21．中央法規出版．2013-2014
- ・加工食品でできる 簡単やわらか食 食べる人にも作る人にもやさしいレシピ（全 12 巻）：おはよう 21．中央法規出版．2015-2016
- ・介護職のための「食べる」機能を維持するケア：（全 18 巻）：おはよう 21．中央法規出版．2016-2017
- ・臨床歯科医学・口腔外科学：言語聴覚士のための基礎知識．医学書院．2016
- ・最期まで口から食べるために①：全国高齢者施設看護師会．2017
- ・最期まで口から食べるために②：全国高齢者施設看護師会．2018